

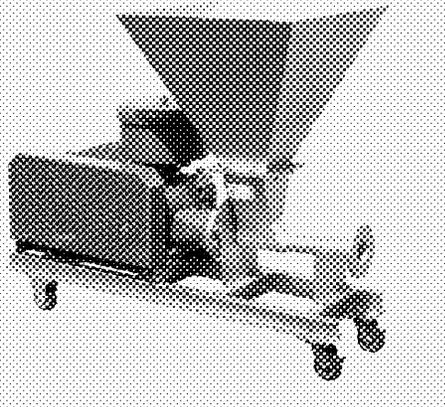
粉粒体輸送を省力化

フルード工業 食品・樹脂工場に拡販

フルード工業（東京都文京区、明珍裕之社長）は、粉粒体を輸送する「エゼクタ式ポータブル空気輸送機」を開発、発売した。ホースや配管とつないで粉粒体を運ぶ。粉粒体が接する部分に機械作動部がないため点検が容易。人手による輸送が多かった高所などへの短距離輸送の省力化につながる。食品や樹脂など粉粒体を取り扱う工場などに拡販し、年間30台の販売を目指す。

高所や散布有効

エゼクタ式ポータブル。機種にもよる。空気輸送機は空気輸送が、最大輸送距離は60送の送り元として使用。輸送距離20mの場合



フルード工業が発売した「エゼクタ式ポータブル空気輸送機」

合の最大輸送量は毎時3・4t。機械式輸送機が苦手とする硬い粒や弾性を持つエラストマーの輸送にも対応する。オプションのキャ

スターや手押しハンドルを付ければ、移動も可能。消費税抜きの価格は81万5000円から。

圧縮空気を送り込み負圧を発生させるエゼクタの仕組みを利用し、対象物を吸い込む。流体の速度が上がると圧力が低下し、流体に周囲の流体が巻き込まれる物理的な現象を用いた。餌の散布作業などにも応用できる。

本体サイズは幅1140mm×奥行420mm×高さ930mm。から。フィルターやプロワーが異なる三つの形を4サイズ、計12種類用意した。従来製品に比べユニット化により価格を約1割下げた。